３番　重長英司議員。

○３番（重長英司君）　皆さんこんにちは。３番議員、立風会、重長英司でございます。遅い時間なのに傍聴いただきまことにありがとうございます。

それでは通告に従いまして、２項目５点の質問をさせていただきます。

まず１項目め、大柿高校支援について。これに関しまして、まず質問に入る前に追加支援を挙げていただきまして、まことにありがとうございます。それで質問のほうに入らせていただきます。

大柿高校に対して追加支援策が出ましたが、次のことについてお伺いいたします。

１番として、今回の追加支援について十分な支援策だと思われますか。

２番目として、大崎海星高校に対する大崎上島町の支援策について、どう思われますか。

３番目、これは質問というよりもお願いなんですけれども、民泊で来島した中学生たちに、大柿高校の宣伝をぜひしていただきたいと思っております。

２項目め、スポーツ施設の老朽化対策についてでございます。

各種スポーツ施設が老朽化しており、早急に対策を講じていただかなければいけないと思うものでありますが、対策はどのようになっているのか伺います。

１番目として屋外施設、江田島市総合運動公園及び能美運動公園のテニスコートに代表されるように、施設がかなり老朽化いたしており、安全にスポーツをするということが難しくなっている状況であるように思われます。保守・整備計画を示していただきたいと思います。

２番目として、今度は屋内です。江田島市スポーツセンターについても同様でありますので、保守・整備計画をお示しいただきたいと思います。

以上の点をよろしくお願いいたします。

○副議長（山本秀男君）　答弁を許します。

御堂岡教育長。

○教育長（御堂岡健君）　重長議員から大柿高校支援についてとスポーツ施設の老朽化対策について、２項目５点の御質問をいただきました。順にお答えさせていただきたいと思います。

１項目めの大柿高校支援については３点の御質問をいただきました。

まず、１点目の追加支援策についてお答えします。

広島県教育委員会は毎年９月の教育委員会会議で次年度の高等学校の募集定員を定めております。今年度もその予定であると聞いており、場合によっては大柿高校の生徒募集が停止されることも考えられます。

本市といたしましては、何としてでも大柿高校の存続に向け、明確な意志を県教育委員会に対して示していく必要がございます。そのため追加支援として、２つの予算を増額させていただきたいと考えております。

１つ目は大柿高校の生徒の通学費の助成です。バスを利用する生徒は年々増加しており需要も高いことから、バス定期代の補助を２分の１から３分の２へと増額させていただきたいと考えております。

２つ目は大柿高校の生徒の学力向上にかかわる支援策です。公営塾充実のために講師を１名から２名に増員したいと考えております。

昨年、公営塾を利用していた生徒は１４名でしたが、ことしは２３名と増加しております。塾を利用する生徒の学習効果を上げるためには、講師の増員は有効であると考えております。塾の充実により学力が向上し進学実績が上がれば大柿高校の魅力がアップし、大柿高校への進学を希望する生徒も増加すると考えております。

次に２点目の大崎海星高校に対する大崎上島町の支援策についてお答えいたします。

大崎上島町においても本市と同様の公営塾の設置などを行っております。特徴的な取り組みとしましては、町が魅力化コーディネーターを１名配置し、中学校と高校の連携を促進したり、町内外の関係機関との調整役を担ったりしております。参考にできる取り組みを研究し、本市にとって有益な方法を考えてまいりたいと考えております。

次に３点目の民泊に来島した中学生たちに大柿高校の宣伝をしてはどうかということでございます。

現状では、市外への広報活動も有効であると考えております。つきましては、交流観光課と連携し、来島した学校の教諭や中学生に大柿高校のパンフレットを用意するなどしてまいりたいと考えております。

次に２項目めのスポーツ施設の老朽化対策については、２点の御質問をいただきました。

まず、１点目の江田島市総合運動公園及び能美運動公園のテニスコートなどの保守整備計画についてでございます。

江田島市総合運動公園や能美運動公園のテニスコートは経年劣化もあり、傷んだところは適宜、部分補修を実施しております。安全に利用できることが第一であり、可能な限り対応してまいりたいと考えております。

２点目の江田島市スポーツセンターの保守整備計画についてでございます。

江田島市スポーツセンターは、平成２８年度には空調設備改修工事などの大規模な改修工事を行い、利便性の向上を図っております。維持管理につきましては、管理者を配置し、安全確保に努めているところでございます。

一方、江田島市スポーツセンターは平成６年に建設された施設であり、建物の状況などを踏まえ、より利用しやすい施設となるよう将来的にはリニューアルも必要であると考えております。

今後も市民の皆様の声を幅広く聞きながら、安全で楽しくスポーツができる施設となるよう取り組んでまいります。

以上でございます。

○副議長（山本秀男君）　　３番　重長英司議員。

○３番（重長英司君）　　それでは大柿高校支援について再質問させていただきます。

追加支援が決まったということで、追加支援策が出たということで、私の周りに大柿高校応援団の皆さんも、それはもう、よかった、これでええがにいきゃええのという話が出ております。その中で、これは１番２番を分けてますけども、一緒にしていきたいと思います。

大柿高校の魅力化につきまして、追加支援で通学バスの補助の増額、公営塾の先生をもう１人ふやしていただく、まことにありがたいことだと思っております。その中で、そういったことも前回の大柿高校活性化協議会からの連続ということで、その中で２年間を通じて大柿高校が８０名を越えなかったという実績が今あるわけです。ですからそれまでの支援策がちょっと足りなかったのかと思われる部分もあろうかと思うんです。その中で、大崎海星高校という名前を出したのは、ここが江田島市と大きく違うのは、外部コーディネーターが入ってるということです。私の個人的な思いを言わせていただければ、このたび３年間の活性化協議会を経て２年連続で８０名を越えなかったという事実があるので、やっぱりここでは外部コーディネーターを入れるという道はなかったのでしょうか、これをお伺いします。

○副議長（山本秀男君）　　小栗教育次長。

○教育次長（小栗　賢君）　　ただいまの大崎海星高校のほうでは、魅力化コーディネーターを配置しているということでございます。主な業務は先ほど言ったように、中学校と高等学校の連携を深めたり、高等学校と関係機関を結びつけたりする役割、いわゆる高校とのつながりが、やっぱり一番太くなっていくと思います。

ですからこのコーディネーター、当然有用であれば大柿高校とよくよく相談して設置の方向に向けて、大柿高校もそれはいいなという話になれば、前向きに検討していければと思っております。

以上です。

○副議長（山本秀男君）　　３番　重長英司議員。

○３番（重長英司君）　　そうするとこれまでは、そういうふうな話し合いは大柿高校とはしてこなかったということですね。

○副議長（山本秀男君）　　小栗教育次長。

○教育次長（小栗　賢君）　　これまでも、高校とは話をしてきました。ただ、前任者である細川校長先生、ちょうど私と一緒のときに来られたんですが、細川校長先生とはお話はしました。細川校長先生の思いが、とにかく中身をよくするから、市としては側面的な応援をしてくれと、いわゆる地域おこし協力隊も利用できるんですよというアナウンスはさせていただいたんですが、まずは中身をよくするんだということだったもので、それ以上のことは私どものほうではアナウンスはしてなかったということでございます。

以上です。

○副議長（山本秀男君）　　３番　重長英司議員。

○３番（重長英司君）　　そういうことであれば、それも仕方がないのかと思います。

それではこの３つ目で、民泊で来島した中学生に大柿高校の宣伝をするという部分で、１つこのえたじま向上委員会というのがあります。えたじま向上委員会の今回のテーマが、大柿高校の魅力ＰＲとあります。これを説明していただきたい。

○議長（林　久光君）　　江郷企画部長。

○企画部長（江郷壱行君）　　えたじま向上委員会というのが去年からやっております。今年度につきましては大柿高校の魅力ＰＲ一本に絞りまして、地域づくりに興味がある

方、地域をよくしようと考える人、今大体５名ぐらいに集まっていただいて、アイデアを出してもらって、それを実行してもらう。このテーマが大柿高校の魅力ＰＲ、今年度のテーマがですね。

この事業につきましては３０万円の補助を出しまして、いいアイデアを出してもらって実行していただく。それが何かに結びつけばと思っております。

以上です。

○副議長（山本秀男君）　３番　重長英司議員。

○３番（重長英司君）　その件につきまして、まだ始まったばかりで、今のところ発表するものは、まだできてないよということでよろしいですか。

○議長（林　久光君）　江郷企画部長。

○企画部長（江郷壱行君）　このテーマにつきましては６月６日から募集を初めまして、２１日まで募集期間があります。それからということになります。

以上です。

○副議長（山本秀男君）　３番　重長英司議員。

○３番（重長英司君）　しっかりと大柿高校のＰＲのほう、よろしくお願いします。

それで、大柿高校の支援について、今一生懸命支援していただいておりますので、今後大柿高校がしっかりとした歩みができるようにと思っております。

そこで、大柿高校についての最後の質問ということで、もしとか、そういうことを想定して言うのはよくないかもわかりませんが、もし募集停止という形が起こった場合に、大柿高校は島には必要だということを市長さんは中国新聞にも言われました。きょうの朝、教育長さんも大柿高校は必要だと言われました。その場合、県が募集停止をするという場合になったとき、それじゃあ江田島市立でやるよという覚悟がおありになるかをお伺いします。

○副議長（山本秀男君）　小栗教育次長。

○教育次長（小栗　賢君）　私が言うのもおかしいかもしれないんですが、そうならないために、とにかく頑張ると、そうなったらどうするかということを今言っても仕様がないと思いますので、ぜひともこれはもう、県・市・大柿高校の３者が協力して頑張っていくしかないというのが一番の解答ではないかと思います。

なくなるという前提は、もう私たちの目の前にはないと考えておりますので、どうぞよろしくお願いいたします。

○副議長（山本秀男君）　３番　重長英司議員。

○３番（重長英司君）　一緒に大柿高校存続について、頑張っていきたいと思いますので、どうぞよろしくお願いします。

それでは次のスポーツ施設の老朽化対策についてということで、まず１番目の屋外施設について、江田島市総合運動公園及び能美運動公園、代表されるのはテニスコートです。平成７年に江田島市総合運動公園は仕上がっております。能美運動公園は昭和５８年です。能美の場合はハードコートとクレーコートで始まりました。それでハードコート側には夜間の照明がついて、クレーコート側には夜間の照明がついてなかったです。

ハードコートですから、これはメンテナンスがすごく簡単なんです。でも使いよるう

ちに、多分下地が悪かったんでしょう、でこぼこになりまして、雨が降ったら水たまりができるようなあれだったんです。今は砂入り人工芝で張ってありますけれども、やっぱりでこぼこが残っておりまして、雨が降ったらそこに水たまりができる。クレーコートのほうは、やっぱり整備をしても、素人が整備するわけですから、きちっとした整備ができないから、だんだん穴があいたりとか、ラインを引いてあるのが、ちょっと浮き上がったりとかあるんです。ですからそこらあたりで穴ぼこに足がひっかかったら転倒する。オムニコートでも、でこぼこがあるから、芝の部分が浮き上がったりした場合に、そこに足をとられて転倒するということも考えられるわけです。

あと、江田島市総合運動公園の場合は、オムニコート２面とクレーコート３面。クレーコートに関していえば、能美の運動公園よりも、もっと状態が悪い。あの雑草の問題もありますし、やっぱり使用者の整備、使う人の整備というのは本当にプロがやるようなことはできませんので、通り一遍のことだけしますと、やっぱり穴があいたり、そこに砂を入れてもまたそこがほじくれる。それでラインテープが浮き上がる、ちょっとそこにやると、すぐイレギュラーをします。オムニのほうは、もう長年使って、もうその当初のオムニは、その当時ではよかったものなんでしょうけれども、もう補修、補修で継ぎはぎだらけです。やってもすぐ、ほかが破れる。そういう状況がグラウンドの状況です。

総合運動公園の場合にもっと深刻なのが、水を吸い上げるポンプが２台あるんです。１台はもう故障してるんです。もう１０年ぐらい故障しています。それで補修をしない。現在入り口の街灯が切れてます。これも修理してくれと訴えておりますけれども、なかなかお金がないけんねという形でできない。

だから、ソフトボール大会か何かをサッカーもありますしグラウンドゴルフもあります、江田島市総合運動公園。そこでそういう大きな大会のときは、トイレで水を流さないようにしてくれというんです。それは、どうですか。

大勢集まって、江田島市の看板の運動公園ですよ。それで、大勢の人が集まるから、すぐトイレがだめになるから、トイレを使わないわけにはいかんので、でも水は流さんとってくれと、そういうふうな案内をしないといけないんです。

トイレも今言ったように平成７年にできておりますので狭いんです。それで中開きなんです。今のものは皆、外開きです。そういう件で、御存じでしょうか、ことしの４月１日にソフトボール大会があったんです。管理棟のトイレに、おばあさんが閉じ込められたんです。和式のトイレのほうに入られて、結局立てなくなったみたいで、ドアにすがったわけです。そしたら何ぼそこから出そうとして、押してもだめなんですよ、突っかえがあるんだから。そこで皆さんが苦労して、上を乗り越えて、管理の人と、そのおばあさんの家族の人で、何とか救出ができたという状況なんです。だからそこもしっかりと改善して、引っ張ったらあくようにしとかんといけないと思いますし、和式じゃなくて洋式のトイレに変えていかんと。

内外から人が集まるんです。これ江田島市の１つの看板ですよね。そこらあたりのお願いや何かをしても、今はお金がないということで終わってしまってるんです。そこらあたりの整備計画はありませんか。何か少しずつでもやっていくということがありませ

んか。全然計画はされてないですか。そこをお伺いします。
○副議長（山本秀男君）　　小栗教育次長。
○教育次長（小栗　賢君）　　今のようなことがあったというのであれば、本当に申しわけないと思います。
トイレに関しては、確かに言われるように、もう老朽化もしていると思いますので、これは順次整備していく必要はあろうかと思います。ただし、運動公園だけでなく、やっぱりここは全市的なことでやっていかなければいけないと思います。
ちょうど今、そこを公園の中にありますので、公園の整備計画もありますので、その辺と踏まえて、やっていけるようにしたいと思います。
通常の管理、安全に使用できるようにということでの補修は当然しておりますが、それが十分でないということもあろうかと思いますので、市教育委員会としてもですし、管理人さんのほうにも、よくよくふぐあいがないかということは報告して、素早い対応をしていけるようにしていきたいと思いますので、どうぞよろしくお願いいたします。
○副議長（山本秀男君）　　３番　重長英司議員。
○３番（重長英司君）　　それではそのように、整備のほうをよろしくお願いします。
江田島市の顔ですから、１つの。そこが大会があって、トイレに水を流さんとってくれというのは、ほんまに情けないことだと思います。
では次に行きます。屋内施設の江田島市スポーツセンターについても同様のような老朽化で、壁紙、あるいはトレーニングルームが一番奥にあります。ここは窓がありますけれども、窓の外は能美中のプールなんです。そうすると、もう外からはほとんど人の目が来ないという状況で、そこでトレーニングに来る方が、結構数がおられるんです。昔は大体が男性が多かったんですけれども、今女性の人も割と利用されている。夫婦で来られるのならいいんです、２人おられるから。男性ばかりの中に若い女性が１人で入ってする場合は、管理される方が一緒に入って、その練習風景を見てるというか、変なことが起こらないように監視をしているという、今の状況です。
そこの壁紙も結構剥がれかけておりますし、その使う運動器具のマットの部分のレザーが破れておったりとか、そういった部分でもあります。ここ何件も、ここはあるんです、今。シャワーもあります、温水シャワーがあるんです、１回１００円です。１００円なんですけども、１００円は管理室で払うんです。あとは自分が使うわけです、黙って使えるんですよ。だからそこらあたりも改善しなきゃいけないですし、シャワーを使うシャワー室に更衣室がないんです。御存じですよね、更衣室がないんです。だからそのシャワーの前に、裸になっていかにゃいかん。そこらあたりも、構造的欠陥としか言いようがないんです。
そういう部分と、あとはトレーニングルームの機械をあんな奥まったところへ納めておくんじゃなくて、今のロビーがあいてるんですから、外から見えますよね、そこへ出して、みんながそこでランニングマシンをしよるというのが外から見えるようにすれば、それはすごい宣伝効果があると思うんです。そういうマシンがあることを知らない人がたくさんいる。宣伝効果のためにも、ぜひそういう機械をロビーのほうへ出していただいて、表から見える状況で、そうすると衆人の目があるから変なことはできませんよね。

やっぱりそういった安全面も考えて、ぜひそういう改良をしていただきたい。
それと、あとアリーナのフロア、木製のフロアです。釘を打ったら木片で栓をします。それが何カ所か浮き上がってるんです。何回押し込んでも浮き上がるんです。剣道をしよると、すり足でやります。そうすると足に当たるんです。下手したら、すりむいたりするわけです。ここを何とかしてくれと、そこの管理人室で訴えるんですけれども、管理人さんがここをやるんですけども、全然、何回やってもすぐ浮き上がってしまうという状況があるんです。
それと最後に、そこにもやっぱりトイレがあります。管理される方が、まず朝に行ったらトイレを掃除するわけです。和式がほとんどで、洋式が１カ所だけあるんです。女性トイレのほうです。そうすると、最近、御存じですか、しゃがめない人がたくさんおるんです。だから便器から外すんです、わかりますか。そしたらその都度掃除をせにゃいかんわけです。日に何回も掃除する。そういう状況が今あるわけです。知っておられましたか。ですから改修をされるのなら、トイレも洋式にしていただいて、外に出さないように、漏らさないように、ぜひお願いしたいと思います。
そのトイレの能力の問題もあります。そこでパブリックビューイングをするというような話をそういう計画もあるとお伺いしております。そうするとそこで大勢が集まって、みんなが見て、そうするとトイレに行くじゃないですか。ここ、トイレがだめになるんですね、大勢が一遍に行くと。これは日馬富士が何年か前にあそこでやったときに、やっぱりトイレが使えなくなった。１日で使えなくなった。だからパブリックビューイングをするのなら、それなりのトイレの容量があるもの、あるいは下水につないでおかないとだめですよね。やっぱりここも江田島市の大きな看板ですから。
あと入り口。外からスポーツセンターへ行く入り口で、玄関の階段の横にはバリアフリーでスロープがついております。ただ、そこの前が設計上なんでしょうか、フラットな面じゃないんです。もうごつごつしていて、１回車椅子に座って、そこで突っ張ってもらってみたらよくわかると思います。それはもう到底できないです、もうでこぼこで。だから改修をするのなら、そこらあたりも全部ひっくるめてやっていただかないと、今でさえその状態なので、やっぱり江田島市の１つの顔なので、そこらあたりをぜひよろしくお願いします。
○副議長（山本秀男君）　　小栗教育次長。
○教育次長（小栗　賢君）　　いろいろと御指摘、ありがとうございます。
やっぱり施設はどうしても、昔につくったものですから、そのときには合ってたと思うんですが、平成６年の１０月にできた建物でございますので、先ほどの教育長の答弁にもあったと思いますが、今のスポーツセンター、あそこは中核の施設と私どもも考えておりますので、それ相当の時期が来たらリニューアルは考えている。当然リニューアルするのであれば、バリアフリー、トイレの問題、今のランニングマシンなんかの配置等も考えていきたいというのは当然考えております。
以上です。
○副議長（山本秀男君）　　３番　重長英司議員。
○３番（重長英司君）　　今、私が申しましたように、これは悠長な話じゃないんです。

皆そこらあたりで困ってるんです。それは順番もありましょうし、そういうことがあるんでしょうけれども、なるべく早い段階で手をつけていただかないと、さっきも言われたように江田島市の看板になるスポーツセンターなんで、これが江田島市の看板かといって笑われるようになるんですよ。だからなるべく早く、総合運動公園もトイレがイベントで人が集まったら、トイレに水を流さんとってくれいうて恥ずかしいことじゃないですか。

ここらあたりからなるべく早く手をつけていただきたいんですけれども、そこらあたり、早急に計画を立てていただけませんか。

○副議長（山本秀男君）　　廣中土木建築部長。

○土木建築部長（廣中伸孝君）　　公園の話が出てまいりましたので、公園の所管をしております土木建築部のほうから現在の検討状況ということで、総合公園も含めまして、現在土木建築部で所管しております公園も含めて、公園全体の管理・活用計画といいますものを策定中でありまして、これ現在、パブリックコメントを今実施させてもらっております。

その中で基幹公園、市内に江田島市総合運動公園、それと能美運動公園も含めまして５つの基幹公園、大きな公園を位置づけておりまして、この管理・活用計画の中では交流を活性化させる基幹公園の整備ということで、魅力を高めていこうということをうたっております。

並行して現在、基幹公園の基本整備構想というものを現在策定中であります。これについてはまだ議員の方々、市民の方にお示しできる段階ではないんですけども、今回いただいた御意見も参考にするとともに、市の教育委員会とも連携して、そういった検討を進めていきたいと思いますので、よろしくお願いいたします。

以上です。

○副議長（山本秀男君）　　３番　重長英司議員。

○３番（重長英司君）　　今、私が訴えたのが現状であります。だからこの現状を踏まえて、江田島市ってこんなところなのかと言われないように、なるべく早く計画して、一番困ってる部分から改善していただきたいと思います。

これで終わります。ありがとうございます。

○副議長（山本秀男君）　　以上で３番、重長議員の一般質問を終わります。

これで一般質問を終わります。

散　会

○副議長（山本秀男君）　　以上で本日の日程は全て終了しました。

本日はこれで散会します。

なお、３日目は明日午前１０時に開会いたしますので、御参集お願いします。

本日は御苦労さまでした。

（散会　１６時０７分）